

グローバル展開プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「科学についてのコミュニケーション及び意思決定の国際的な統合的発展」
- ◆研究テーマ:「エネルギー, 化学物質, 水管理政策における市民参加型の意思決定手法に関する国際比較」

研究期間:H26.2~H29.1
委託費総額:28,550千円

<研究代表者>

大久保規子:大阪大学大学院法学研究科/教授



<専門分野>
環境法、行政法
<Webページ>

<http://tiger.law.osaka-u.ac.jp/>

<研究目的・概要>

・高度科学技術に係る合意手法に国際的な共通理解が存在していない。



欧米, 南米およびアジアの研究者と連携して国際的意思決定手法を開発し, 科学技術民主主義の促進と持続可能な社会の形成に寄与する

・エネルギー、化学物質、水管理分野に焦点を当て、法学、科学技術社会論、サステナビリティ学の観点から学際的な研究を行う。

<研究計画の特徴>

・総合的・多角的なネットワークの構築

ドイツ、フランス、ブラジル、アメリカ、タイ、中国の研究者と各環境分野及び各学問分野における総合的・多角的なネットワークを構築する。

・従来にない挑戦的な研究

日本における従来の参加手法の研究では見られなかった中国、ブラジル、タイの研究者の参画を得ることで、これまでにない参加手法の多様性や共通性を探る。

<目標とする研究成果>

(1) 環境政策に関する意思決定手法の解明

科学技術民主主義の重要性や意思決定のあり方に関する国際的な共通認識を形成するうえで、不可欠の基礎的作業

(2) 環境・エネルギー法整備支援への提言

アジアでは整備が遅れている環境・エネルギー法の整備に際し、市民参加の観点から提言を行う。